

# 第2期平塚市まち・ひと・しごと創生推進事業 平塚駅周辺地区活性化推進事業

～平塚駅周辺地区をみんなのリビングに～



企業版ふるさと納税地域別マッチング会

2026年1月14日(水)

## 「商都」平塚

- ◆ 東海道平塚宿
- ◆ 戦災復興により商業地形成  
⇒市内外からの買い物客が  
にぎわう商都に



## 平塚駅周辺地区を 取り巻く状況

- ◆ 郊外への大型店舗の出店
- ◆ 空き店舗や駐車場の増加
- ◆ ネットショッピングの普及
- ◆ 買い物客や歩行者通行量の減少
- ◆ ライフスタイルの変化
- ◆ 建物・都市基盤の老朽化

## 平塚駅周辺地区 将来構想の策定

- ◆ にぎわいが失われつつある状況  
に対応し、持続可能なまちづくり  
を実現するため、  
「平塚駅周辺地区将来構想」  
を策定（令和7年3月）



# 02 平塚駅周辺地区将来構想



## 02 平塚駅周辺地区将来構想

### 平塚駅周辺地区をみんなのリビングに

～充実した日々の中にときめきを感じられる  
それぞれが居心地の良いまちづくり～



### ハード整備

- ◆ 道路、公園、駅前広場等の整備
- ◆ 建物の建て替え など

### ソフト施策

- ◆ 市民活動団体のサポート
- ◆ 平塚駅周辺地区アクションプラン
- ◆ まちづくりサミット など

# 03 現在の取組み① 社会実験

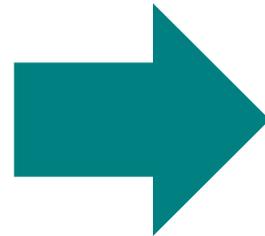
将来構想に位置づけた「通り・エリアのイメージ」を実現するための道路や公園での社会実験実施しています。社会実験の結果を今後の整備に繋げます。

◆将来構想での通りのイメージ

豊かで楽しい時間を過ごせる  
みんなのメインストリート

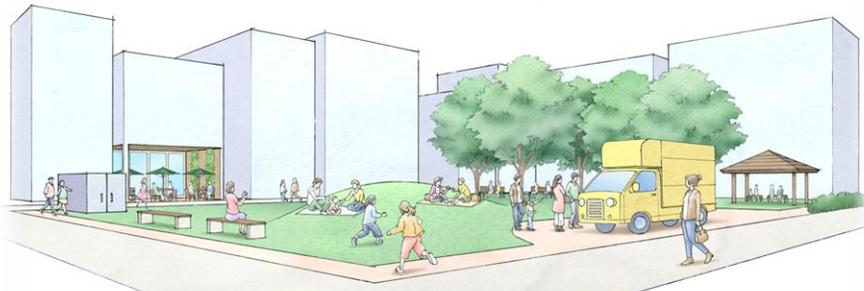


◆社会実験の様子（道路）



◆将来構想での公園のイメージ

安全で快適に過ごし  
集い、交流できる公園・広場



◆社会実験の様子（公園）



## 03 現在の取組み② 平塚まちなか活性化隊への支援

地域主体のまちづくりの推進を目的に、若手商業者を中心とした団体「平塚まちなか活性化隊」（通称：まち活）への支援を行っています。

### ◆平塚まちなか活性化隊



### 主な活動内容

- ◆ まちなかベース「きちきち」の運営
- ◆ 商店街や通りごとのまちづくりビジョンづくり
- ◆ イベントによる商店街の魅力の情報発信
- ◆ 公共空間を活用した滞留スペースの設置 など



- ◆平塚駅周辺地区将来構想に関する取組みは  
情報紙「みんなのリビングDAYS」で紹介しています。

こちらの  
↓二次元コードからご覧いただけます。



- ◆ お問い合わせ先

平塚市都市整備課駅周辺地区整備担当 担当：<sup>おくだ</sup>屋田

☎ 0463-21-8783 (直通)

✉ machi-j@city.hiratsuka.kanagawa.jp



企業版ふるさと納税地域別マッチング会

2026年1月14日(水)



## 技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

自治体の  
紹介

取組みの  
背景

・  
現状の  
課題



- 平塚市は神奈川県西部、湘南エリアに位置し、JR東海道本線で東京駅から約1時間程に位置します。
- 中心市街地では毎年7月に「湘南ひらつか七夕まつり」が開催され、多くの人を訪れます。



湘南ひらつか七夕まつり

- 本市はJR平塚駅を唯一の鉄道駅とし、当該駅を中心に、周辺の小田急線駅へ約70路線のバスが運行される等、路線バスは市民生活に欠かせないものとなっています。
- 持続可能な路線バス運行を目指し、様々な施策(バス利用環境の改善による利便性の向上(サイクル&バスライド駐輪場の整備)や環境面と運行経費面の改善支援(電気バス導入補助)等)に取り組んでいます。
- しかし、本市においても運転士不足は大きな課題であり、この解消の一助として、路線バス運行事業者とともに、路線バスの自動運転化に向けた実証実験を進めています。



本市が導入を補助した電気バス

## 技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

### 事業の 目的と 内容



▲「エルガEV 自動運転バス」による実証実験(全国初)



▲地域公共交通のDX推進に係る連携協定締結式の様子  
(2024年1月19日)

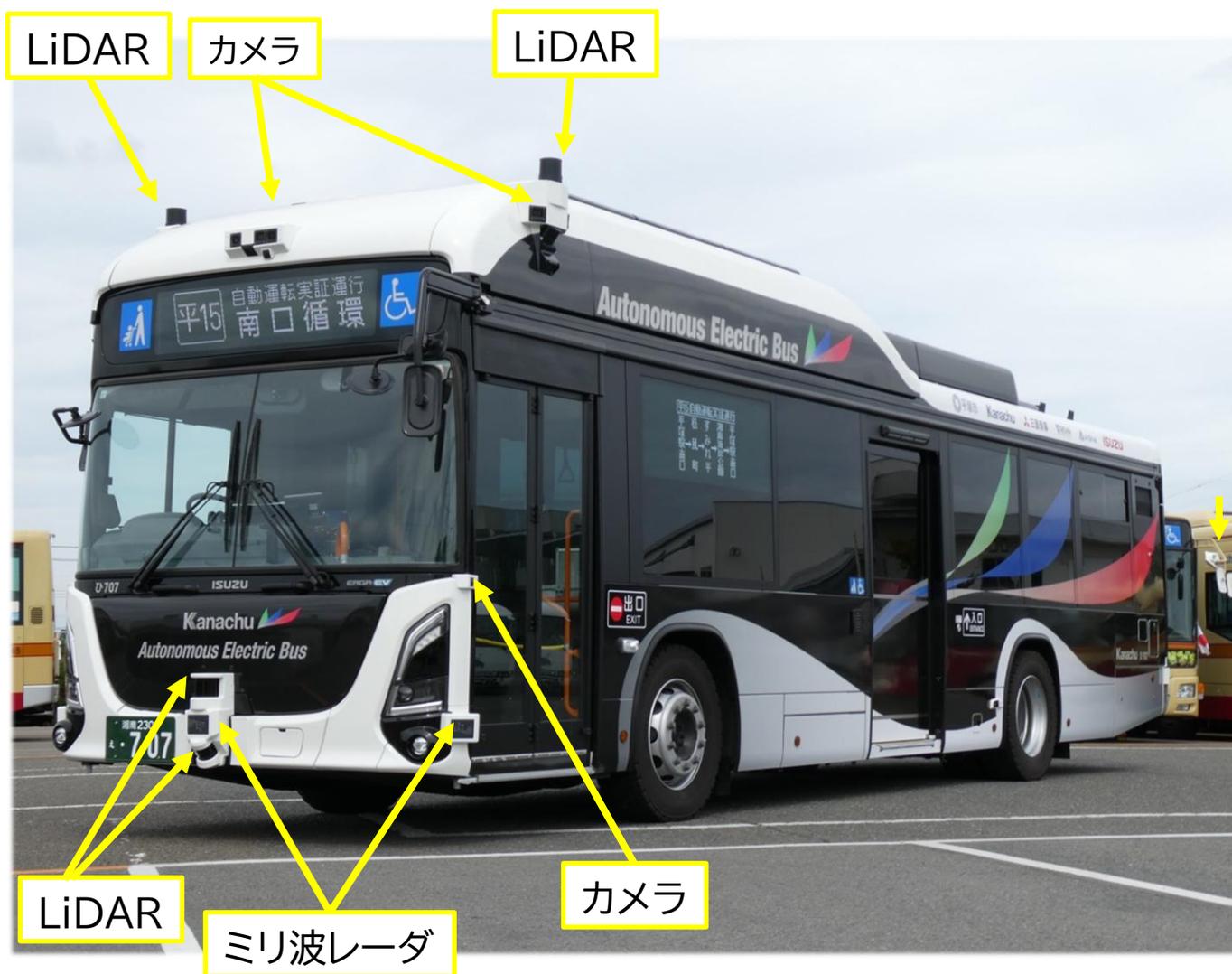
- 2023年度(令和5年度)に、平塚駅南口の循環路線(平15系統)にて、国産の大型路線バスを用いた実証実験を開始。
- 取組みにあたり、路線バス運行事業者である神奈川中央交通株式会社、車両メーカーのいすゞ自動車株式会社をはじめ、自動運転の知見を有する三菱商事株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、A-Drive株式会社と連携協定を締結し、官民が一体となって実証実験を進めています。
- 2027年度(令和9年度)の自動運転レベル4(※)認可取得を目指し、システム面及び運用面で検証を進めています。  
(※)自動運転レベル4…特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施

#### 【主な検証項目】

遠隔監視、信号連携、路上駐車自動回避、  
日没後の運行、システム判断によるバス停からの  
自動発車及びドアの自動開閉、完全キャッシュレス等

技術の力で地域の交通手段を守る！  
路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

安全運行上  
必要となる  
機器搭載の  
自動運転  
バス車両



得られる  
成果等



#### 【平塚市実証実験の特徴】

- 大型バス車両を用いた既存の営業路線を、そのまま自動運転に置き換える計画で、全国のモデルケースになることを目指しています。令和7年度は、国による**重点支援自治体**に採択されました。
- 将来的には、平塚駅南側全域の路線バスを自動運転バス化し、人的リソースを再配分することで、平塚駅北側の路線バスの維持につなげます。
- 運転士運転による路線と自動運転による路線を棲み分け、バス路線を確保・維持することで、持続可能な路線バス運行に繋げる計画です。
- 2025年度(令和7年度)は、**全国初**となる**国産大型電気バス「エルガEV 自動運転バス」**(JAPAN MOBILITY SHOW 2025で世界初公開)による実証実験を実施中です。

# 技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

寄附をする  
メリット等

- 本市の取組みは、既存の営業バス路線を、同じサイズ(大型車両)でそのまま自動運転化を目指すのが特徴であり、ノウハウを積み重ねた実装の実現によって、路線バスの廃止・減便等の課題を抱える全国の自治体にとって、課題解決のモデルケースとなるものと自負しています。
- また、路線バス運行事業者、バス製造メーカー、自動運転技術の開発ベンダーが結集して取り組んでおり、国産の自動運転技術普及に向け、注目度が非常に高い取り組みです。



## 寄附により…

応援いただいた事業者としてPR

- 👉 市長から感謝状の贈呈
- 👉 ホームページ掲載
- 👉 記者発表プレスリリース など

## 技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

### 問合せ等

- ・国産自動運転バスの社会実装に向け、検証とフィードバックの積み重ねに多くの費用が必要となっています。皆様のお力をぜひお貸してください。
- ・事業について、さらに詳しくご覧になりたい方は本市ウェブサイト [こちら](#) をご覧ください。  
(右記の2次元バーコードからアクセスできます)
- ・全国の交通課題解消に繋がる事業を皆様と共に…。多くの応援をお待ちしております。

#### 【この事業に関する問合せ先】

平塚市まちづくり政策部交通政策課 担当:海老澤、広永、平宮

電話:0463-21-9840(直通)

メール:[kotsu@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:kotsu@city.hiratsuka.kanagawa.jp)



この事業は、SDGs の17 のゴールのうち、特に9番、11番、13番、17番に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

